

2015年(平成27年)度事業報告
NPO法人生き生きサポートシルバーエイジ

平成27年			定例会()は、参加者数 ○は、活度の内容 場所; 5・7・9・10・11・12・2月は教職員互助組合会館 その他の月は、サンエール		
月	日	曜日	テーマ	活 動 内 容	係・備考
4	19	日	・総会 ・会費納入 (29)	・重点目標は、仲間を増やす、委員会活動の活発化、ということを確認しました。	・会費の徴収 永瀬 ①
5	17	日	・入院保証制度の利用を通して(寸劇にして理解を深める) (21)	・会が何をしてくれるか、事業の一つである「入院保証事業」を寸劇にして、見えない契約書の内容の理解が進むよう工夫しました。	・合原・福元・上江川 ・教職員共助会補助金申請 上江川 ⑤
6	21	日	・高齢者施設見学 (23)	・アルテンハイム(与次郎)・シルバーフラット武岡台・なでしこの杜→アルテンハイムでは、すでに入居中の会員の方が丁寧に應對して下さいましたし、後で会員の入居もありました。シルバーフラット武岡台では、軽費老人ホームの仕組みが分かりました。	・道免・田水さん ①
7	19	日	・相続税について知る (33)	・相続税の基礎控除額が変わる等、気になった方も多かったのではと思いました。質問にも丁寧に答えて下さって相続税が決まるまでの仕組みがよく分かりました。	・青木一泰税理士 ③
8	20	木	・高齢者施設見学 (20)	・ろうけん青空・あっとホーム白銀・白銀の森・サ高住東雲(しのめ)・グループホーム帯迫とたくさんの施設を見学しました。どこも、丁寧に應對して頂きました。	・鈴木・田水 ①
9	20	日	・介護保険制度の改正点について知ろう(高齢者の住いに関して) (43)	・施設選びは、とにかくその施設に行って、見て、においをかいで体で感じる事が大事だというお話、参考になりました。	・元施設長の福留昭氏 ①
10	18	日	・認知症になった・・・頼れる制度は? (29)	・なかなか普及しない任意後見制度。何がネックになっているのか。もっと知って身近なものにするには、たくさんの事例を踏まえてとても分かりやすかったという感想でした。	司法書士 芝田淳氏 ④
11	15	日	・エンディングノートを書こう (17)	・迷うところは記入しづらい。そこで記入の第一のポイントは最初から全ページを埋めようと思わないこと。あとは実行のみ。	・上江川 ④
12	20	日	・お楽しみ会(DVD鑑賞) 毎日がアルツハイマー (22)	・ケーキ、コーヒー付のDVD鑑賞会。主人公のひろ子さんの明るさに救われたようなドキュメンタリーでした。	・道免・田水 ①
1	17	日	・住み慣れた地での支え合いについて 地域ケア会議 (19)	・高齢化の波をみんなで防ぐには、地域の互助、共助が必要とのお話でした。自分には、何ができるのか、考えさせられました。	・鹿児島市長寿あんしん相談センター鴨池北高野大輔氏 ②
2	21	日	・見守り活動について語る (20)	・アンケートを取りました。「常備書」が欲しいという意見。実現に向けて取り組みました。	・田水 ①
3	20	日	・年間を振り返って(活動の反省) (18)	・まずは定例会に参加して、会は何ができるのか把握し、自分に何ができるか、活動を限定していく方向か、広げていくのか。考える会になりました。	・総会準備 ・理事 ①

今年の重点目標

- ・ 委員会活動の確立 ・ 仲間を増やそう